



令和元年度「夢ふくおかネットワーク」総会・講演会

を開催しました！

令和元年 6月 4日、2019年度「夢ふくおかネットワーク」総会・講演会を開催しました。企業・事業所、支援機関、保護者、教員など、多くの方に参加いただきました。



↑【会場の様子】
福岡市市民福祉プラザで行いました。169名の方にご参加いただきました。

↑【教育委員会挨拶】
福岡市教育委員会 理事 深堀 雅基

【当日の内容】

- 1 開会のことば
- 2 教育委員会挨拶
- 3 総会（令和元年度「夢ふくおかネットワーク」について）
- 4 講演会

「セブン-イレブンが進める
障がい者雇用の取組」

株式会社セブン-イレブン・ジャパン
ダイバーシティ推進部

障害者職業生活相談員・ジョブコーチ 石川 道広 氏
マネージャー 大里 錦三 氏

- 5 諸連絡
- 6 閉会のことば

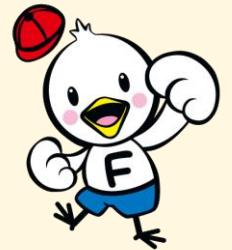
総会では、平成 30 年度の事業報告として特別支援学校の就労について、また令和元年度の事業計画として令和元年度の目標とその方策についてを発表いたしました。福岡市立特別支援学校高等部卒業生の就労について現在抱える課題や、それに対する方策をお示しながら、今年度の取組について説明させていただきました。

高等部生徒の就労促進を図るため、また障がい者雇用の理解を拡げていくため、令和元年度も様々な取組を行ってまいりますので、ご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

総会

夢ふくおかネットワーク 令和元年度の目標

- 特別支援学校高等部の就労率等を高める。
知的障がい 6校の就労希望者 57名全員の就労
- 特別支援学校高等部の実習件数及び実習可能企業のリスト作成
知的障がい 5校の実習件数 令和元年度 93件
実習受け入れ可能企業リスト 80社
新たな夢ふく情報配信企業数 100社



令和元年度のキーワード

連携強化

連携関係	内容
企業と学校	①デュアル実習を取入れた教育課程の編成着手（地域企業との連携） ②教職員の体験型セミナーの実施（企業、事業所との連携） ③清掃技能検定の構築（県ビルメンテナンス協会との連携） ④ガイドブックの活用
学校と保護者	①生徒・保護者の体験セミナーの実施 ②就労希望者へのセミナー周知
企業と保護者	①総会・講演会、企業・保護者向けセミナーの実施 ②企業、保護者との座談会

令和元年度 取組(案)

取組	開催日	詳細
教員向けセミナー	R1.5.28	・教職員清掃基礎研修
令和元年度 総会・講演会	R1.6.4	・令和元年度 総会・講演会 「セブン-イレブンが進める障がい者雇用の取組」 株式会社セブン-イレブン・ジャパン 石川 道広氏
障がい者雇用普及促進セミナー(市内向け)	R1.7.3	・夢ふくおかネットワーク取組紹介 ・博多高等学園生徒による作業学習紹介 ・学校見学(博多高等学園)
教員向けセミナー	R1.7.31/ 8.2/8.5	・職場体験を3回(企業2社・A型事業所1社)
教員向けセミナー	R1.8.7	・教員清掃研修(ビルメンテ協会と共催)
教員・保護者参加体験型実習会	R1.8.8	・知的5校の就労希望者対象に博多高等学園での生徒、教員体験型実習の実施(保護者も参加要請)
企業・保護者向けセミナー	R1.11.15	・福岡市障がい者就労支援センター主催(後援)
(県共催) 企業向けセミナー	R1.11月～	・知的特別支援学校 技能発表会 生徒の実技発表(会場校のみ) ※詳細未定
保護者向けセミナー	R2.2月	・企業担当者講演、保護者と企業担当者との座談会

「セブンイレブンが進める障がい者雇用の取組」



株式会社セブン-イレブン・ジャパン
ダイバーシティ推進部

障害者職業生活相談員・ジョブコーチ 石川 道広 氏
マネージャー 大里 錦三 氏



石川 道広氏

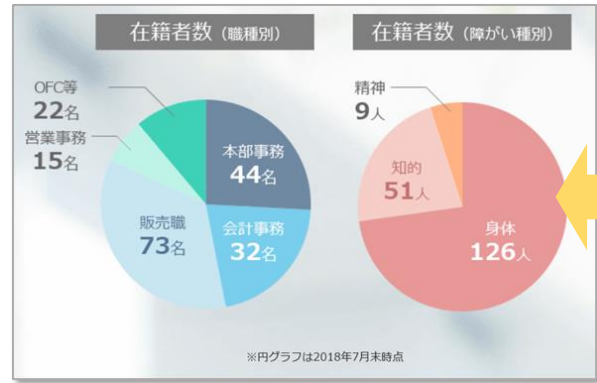
講演会では株式会社セブン-イレブン・ジャパンのダイバーシティ推進部、障害者職業生活相談員であり、企業在籍型ジョブコーチの石川道広様と、同じくダイバーシティ推進部のマネージャーの大里錦三様にご登壇いただき、「セブン-イレブンが進める障がい者雇用の取組」という内容でお話いただきました。

セブン-イレブンの店舗は、「近くて便利なお店」として今や日常生活に欠かせないコンビニの最大手です。そんなセブン-イレブン・ジャパンでは、知的障がいのある方が店舗業務に向いているとして、6年前から直営店舗での障がい者雇用に積極的に進めてきたそうです。その根底には、セブン-イレブン・ジャパンの推進するノーマライゼーションの考え方があるとのこと。障がいを理解し、その障がいに合わせた配慮をして、社会での活躍の場を支援するということです。特に講演の中で印象的だったのは「障がい者雇用に“福祉”とはとらえていない、“戦力”と考えています。」という言葉です。そのための教育体制やサポート体制の構築を模索してきたということです。たとえ失敗しても、そこから学んだことを積み重ねて成功につなげる揺るぎない企業理念がうかがえました。

さらにセブン-イレブン・ジャパン様では、採用の対象を特別支援学校の新卒者に絞っているとのこと。その理由として、特別支援学校の職業科で学ぶマナーや清掃技能などが、店舗業務を行う上で即戦力となるということでした。



大里 錦三氏



セブン-イレブン・ジャパンの現在の障がい者雇用状況

当日、参加者に配布されたセブン-イレブン・ジャパン様の障がい者雇用のパンフレット。障がいのある職員の声や具体的な仕事のステップアップ例が掲載されています



また、特別支援学校在学中からのインターンシップの重要性に着目し、実習受入を拡大、知的障がいのある生徒の店舗業務の適性を知ってもらおうと、特別支援学校の教員向けのセミナーにも力を入れているとのことでした。夢ふくおかネットワークとしても、企業との連携強化の一環として今後の取組に期待が持てるお話でした。

講演の最後では、障がい者雇用を受け入れた店舗の各社員向けに作成された、障がいのある方への理解を深め、対応の仕方をわかりやすく示したDVDを見せていただきました。こうしたマニュアル用のDVDももっと内容を充実させるとのことで、セブン-イレブン・ジャパン様の障がい者雇用もさらに拡大していくと期待できる内容でした。

セブン-イレブンの販売職に求める人材像

1. 元気に自分から挨拶できる
2. 決まり(約束)を守る
3. 報連相ができる

はじめての店舗勤務 ステップアップの例



セブン-イレブン店舗の仕事内容	
品揃え 商品陳列 納品対応	鮮度管理 賞味期限 チェック
基本4原則	
フレンドリーサービス 試食販売 商品配達	クリンリネス 各種清掃 (床・トイレ・正面ガラスなど)

【保護者】

◆夢ふくおかネットワークの総会・講演会に初めて参加しましたが、子どもたちの就労のためにとっても大事なネットワークだと思いました。子どもの自立のために多くの方の支えや知識があるのだととても感謝しています。

◆特別支援学校の卒業生の職場定着率が高いことはうれしいことです。保護者としても頑張らなければと思いました。

◆働くことの意味や姿勢を考えさせられました。今の私(親)の考えはあいまいで甘かったようです。やらなければならないことを先に延ばしていたと反省しました。

◆知的障がいの障がい者雇用も、思ったより進んでいる状況をいただいて、少し希望が出てきた思いです。

◆セブンイレブンさんの障がい者雇用は、数年かけて改善を重ね、そしてさらに現在進行形ということで、スモールステップの積み重ねを丁寧に行って前進されているのが素晴らしいと思いました。

【支援機関】

◆特別支援学校の就労の推移など、参考になりました。セブンイレブン様の取組は素晴らしいと思います。DVDも大変参考になりました。

◆セブンイレブンの障がい者雇用の取組を聴いて、障がいのある人も一人の人として認められ、活かされている職場を提供してもらってうれしく思いました。さらに雇用を拡大されることを心より期待しています。

【教員】

◆福岡市立特別支援学校の最新の就労状況がわかってよかったです。また卒業生の職場定着率についてもよく調査されていると感心しました。

◆いつも利用しているセブンイレブンがこのような取り組みをしているのははじめて知りました。業務の内容が厳しいところもあると思いますが、それでも戦力と断言して長い目で育てていけるところがすごいと思いました。いつかセブンのお客さんにも障がいのある方が働いているのが当たり前になってくれたらいいなと思いました。

◆DVDのような対応をしてもらえると、知的の生徒も安心して預けられると思いました。

【企業・事業者】

◆夢ふくおかネットワークでは、デュアル実習を推進しているようですが、デュアル実習そのもの知らない企業もいっぱいあるようなので、学校側から積極的にお話しされてはいかがでしょうか。

◆講演会では、普段あまり知ることのない障がい者雇用の現実を知ることができました。また自社との比較もでき、とても参考になりました。

◆セブンイレブンの障がい者雇用に対する考え方やプランがよく分かりました。他の社員に対する障がい者雇用受入の勉強会はとても大切ですね。雑用係ではなく、戦力として働けるように理解しあって共に働ける環境を作っていけたらと思います。

【セミナー開催にあたり、たくさんのご協力・ご参加、ありがとうございました。】

情報BOX

Q. 福岡市立特別支援学校の卒業生の職種は？

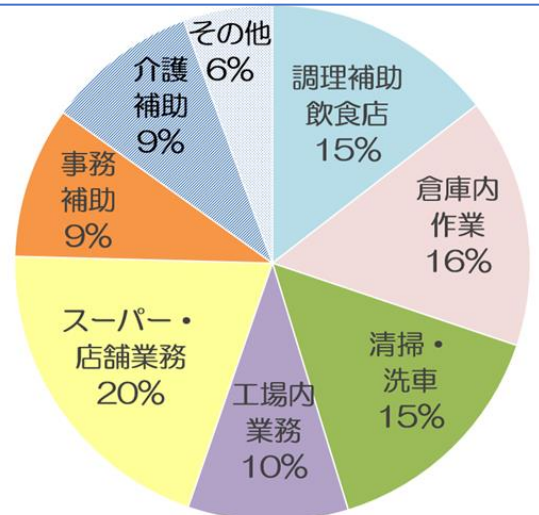
「福岡市立特別支援学校の卒業生はどんなお仕事についているのですか？」よくこんな質問を保護者の方からいただきます。そこでH25年度からH30年度の6年間に就労した福岡市立特別支援学校高等部の卒業生の就労先を職種別にグラフに表わしてみました。

このグラフを見ると、「スーパー・店舗業務」が一番多く、次に「清掃・洗車」や「倉庫作業」となっています。これはサービス産業が多く占める福岡市の地域性が大きく影響しています。スーパーや郊外型大型店舗などは市内各地に点在しており、場所が限定されず雇用・実習の対象となるうえ、生活に密着した仕事内容で仕事内容をイメージしやすいという要因があると思われます。

また最近の傾向としては、介護補助や介護周辺業務に携わる仕事、また特例子会社などの事務補助の仕事に就く卒業生も増えつつあります。

就労を考えるうえで職種の選択は大きなウエイトを占めます。各学校や家庭でも、個々の生徒の適性を十分見極めたうえで、福岡市で需要の多い仕事をリサーチし、就労への取組や進路指導に活かしていくことが望めます。

H25～H30年度卒業生 就労者の職種

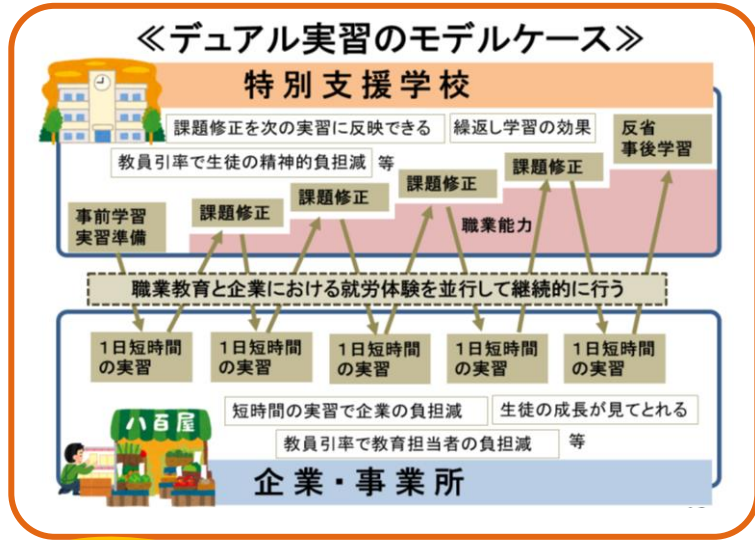


夢ふくおかネットワークが推進する「デュアル実習」とは・・・

特別支援学校の生徒たちにとって企業実習は、生徒たちの就労への意欲を高め、職業スキルの向上を促し、卒後の就労につながる足掛かりとなっています。これまで、高等部在学中の企業実習を推進してきました。その一環として「デュアル実習」の導入を進めています。

「デュアル実習」とは従来の単独・単発的な実習とは違い、学校の授業の一環として教員の引率のもと生徒数名が、近隣の企業などで継続的に実習を行うものです。この「デュアル実習」のねらいは、まだ経験が浅く、自力通勤や企業での単独作業が難しいという生徒たちでも実習のハードルを下げることで実習に行きやすくするというところにあります。まだ就労への意識や意欲が芽生えていない生徒も、実際の職場での作業体験を積み重ねていくことで経験値を増やし、課題をクリアすることで自信を深め、就労意欲を高めていくという効果が期待できます。

現在、市内特別支援学校でも学校の職業授業や作業学習の時間を使って「デュアル実習」の形式の実習を導入しつつあります。ご協力いただいている企業様には心よりお礼申し上げます。今後もこの仕組みを定着させ、継続的な取組となるように、これからもご理解ご支援をなにとぞよろしくお願いいたします。



デュアル実習のメリット

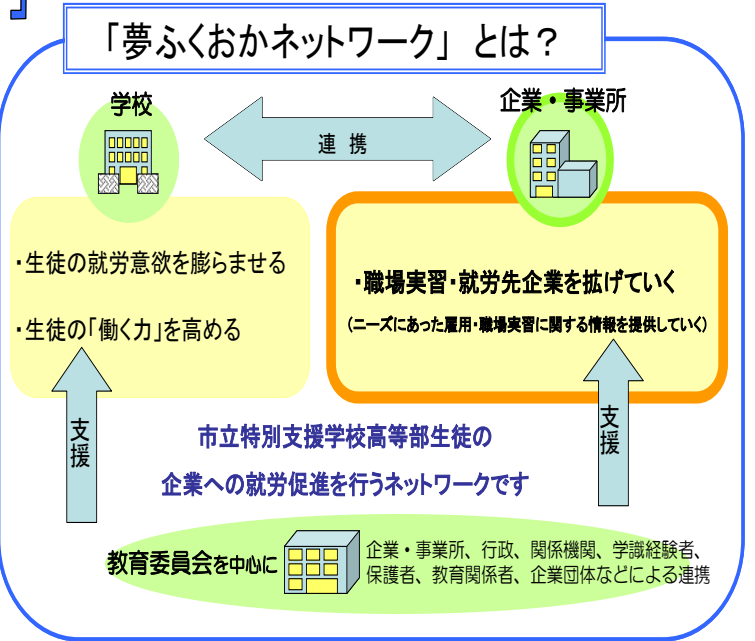
- ① 学校近隣の企業で、教員の引率のもと複数名で行う実習なので、通常の企業実習はハードルが高いという生徒も挑戦しやすい
- ② 実習での課題を次の実習に活かすことができ、繰返し学習の効果が期待できる
- ③ 教員引率のもと短時間・短期間の実習で、受入をする企業にとっても負担が軽減する
- ④ 継続的な受入で生徒の特長や成長の様子が見て取れ、企業の障がいに対する理解が深まる

「夢ふくおかネットワーク」

福岡市教育委員会は、企業・事業所、学校、関係機関、保護者、学識経験者等によるネットワークを立ち上げました。障がいのある市内高等部生徒の企業・事業所就職を、雇用される側（生徒）、雇用する側（企業・事業所）の両側から捉え、推進していく取組を行っていきます。登録いただいた企業・事業所様へは、特別支援学校に関する情報の発信、企業・事業所間での情報交換の場の提供などを行っていきます。

- 《事業内容》
- 総会（年1回） ● 会報発行（メールにて配信）
 - 各種セミナー開催
 - 学校見学会、雇用企業・事業所見学会等のイベント開催
 - * 生徒の職場実習（インターンシップ）や雇用をお考えの企業・事業所様からのご相談を受けます

へのご登録 ありがとうございます



「夢ふくおかネットワーク」登録ご希望の方は、発達教育センター就職指導員 までご連絡ください。

福岡市教育委員会 発達教育センター

福岡市中央区地行浜 2 丁目 1-6
 TEL 092-845-0015 FAX 092-845-0025
 E-mail yume_network@city.fukuoka.lg.jp
 HP <http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/hattatuc/>

「夢だより」についてのご感想、ご意見などをお寄せください。

